

# 故障かなと思ったら

まず次の点をもう一度お調べください。

1. 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
2. タイマーの横P付コードのプラグが、コンセントからはずれていませんか？
3. タイマーは、正しく設定されていますか？
  - 現在時刻を確認してください。
  - タイマー設定時刻を確認してください。
4. タイマー運転時間内ですか？
  - タイマー設定時刻を確認してください。
  - タイマー運転時間外であればタイマーのモードを**連続運転**にしてファン運転を確認してください。確認後再びモードを**タイマー**に切替えてください。
5. タイマーのモードが**停止**になっていませんか？

※詳細な設定方法はタイマー付属の取扱説明書をご参照ください。

# アフターサービス

## 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年です。

- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外（例えば業務用など）に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

## 保証書について

- この製品には「保証書」がついています。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。

## 愛情点検

## 長年ご使用の換気扇の点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある
- 回転が遅い、または回転が不規則である
- 運転中に異常な音や振動がする
- 焦げくさい“におい”がする
- その他の異常がある

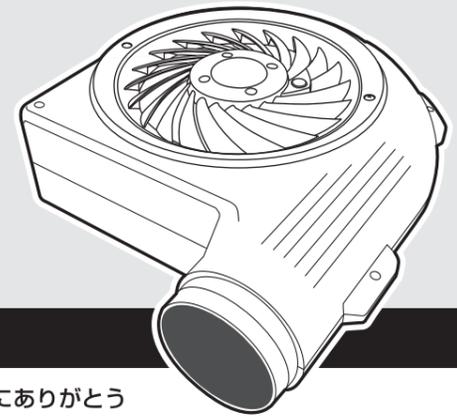
## ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

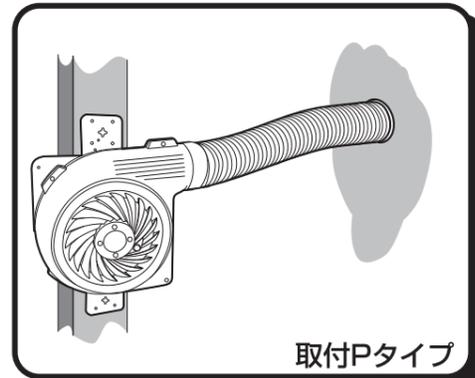
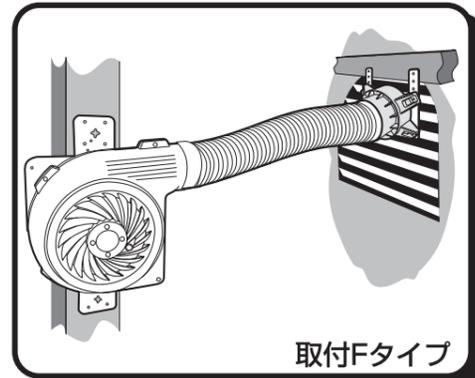
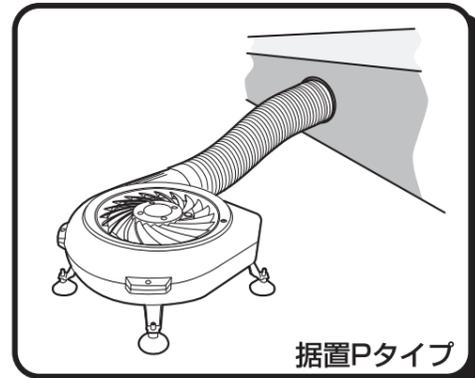
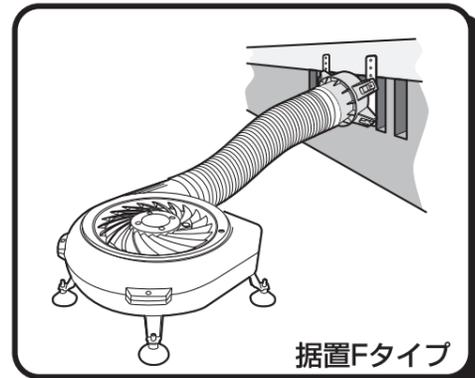
## ■床下・天井裏用ブロー型換気システム

# 取扱説明書

## ブロー型 4タイプ



このたびは、床下・天井裏用ブロー型換気システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。



## 目次

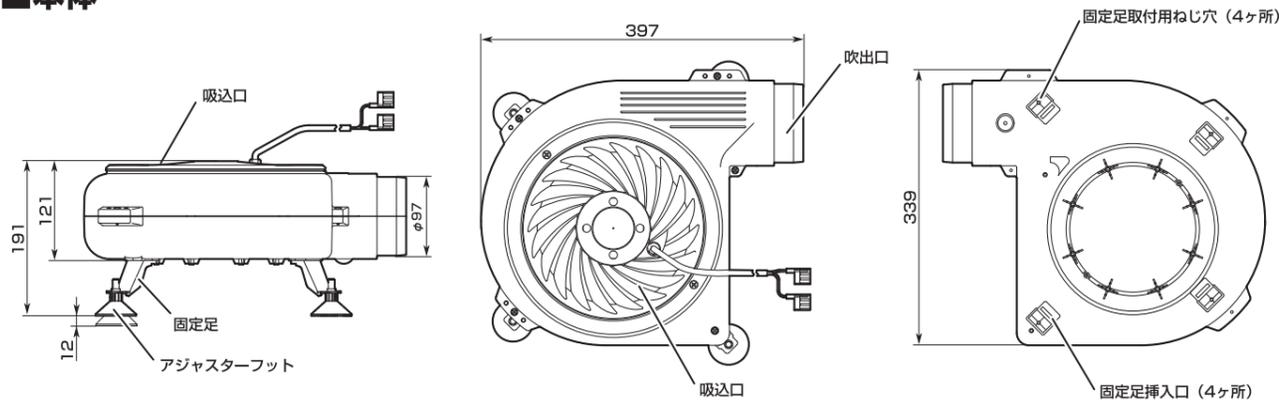
共通項	安全上のご注意	2	
	ダクト工事に関する注意事項	3	
	取付場所	3	
据置型	共通項	各部の名称と外形寸法図 梱包内容を含む	4
	Fタイプ	据置Fタイプの施工方法	6
	Pタイプ	据置Pタイプの施工方法	7
取付型	共通項	本体固定プレートを使った様々な取付例	8
		各部の名称と外形寸法図 梱包内容を含む	8~9
		本体固定プレートの取付方法	10
共通項	本体の設置方法	■木部への取付	11
		■取付板を介しての取付※1	11
		■H(L)形網への取付※2	11
Fタイプ	取付Fタイプの施工方法	12	
	Pタイプ	取付Pタイプの施工方法	13
共通項	配線および結線方法	14	
	仕様	14	
	工事完了後の点検	15	
	故障かなと思ったら	16	
	アフターサービス	16	

※1 取付板セットは別売です。 ※2 支持金具セットは別売です。



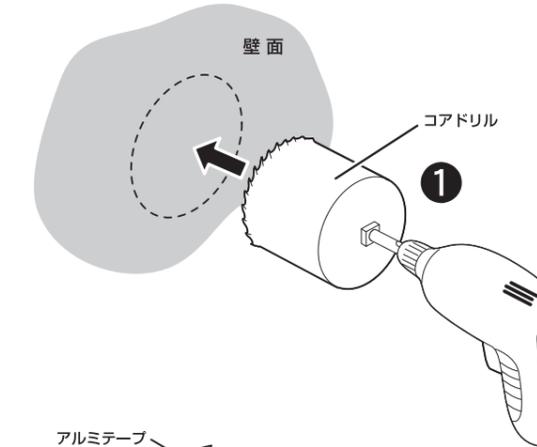
各部の名称と外形寸法図

■本体



【単位：mm】

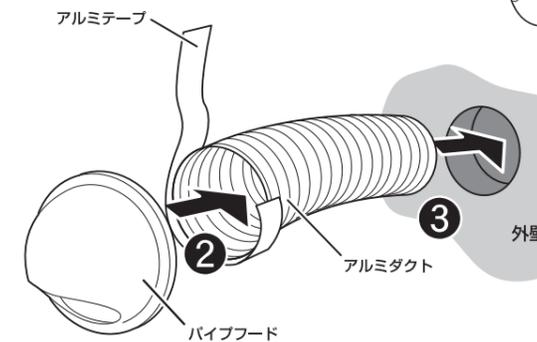
取付Pタイプの施工方法



**注意**

- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

**1** 壁面にコアドリルでφ105～φ110の穴を開け、ダクトが通るようにします。  
※状況に応じて外側・内側から開けてください。  
※下穴は、壁厚さ10mmまでφ105それ以上はφ110で開けてください。



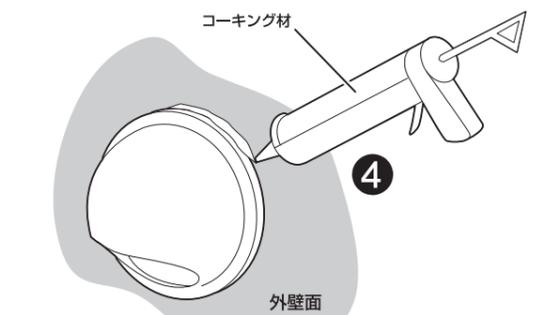
**注意**

- 電動ドリルを使用する際は、十分注意してください。けがの恐れがあります。

**2** パイプフードをアルミダクトに差込み、アルミテープで締付け、固定します。

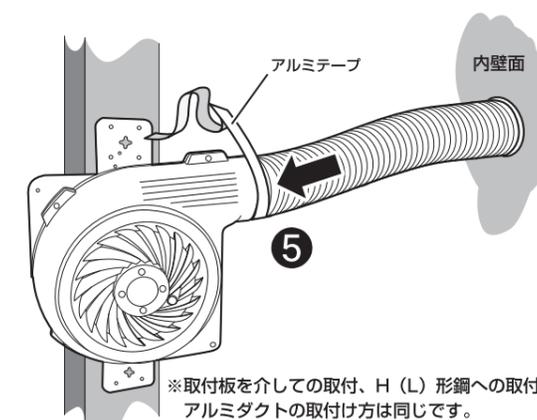
**注意**

- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。



**3** アルミダクトを①で開けた穴に屋外から差込みます。

**4** パイプフードと壁面のすき間を市販のコーキング材でコーキングします。  
※変成シリコンをコーキング材として使用すると後に塗装ができます。



**5** ③で差込んだアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

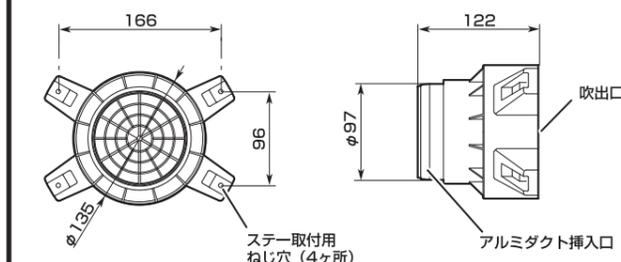
**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。

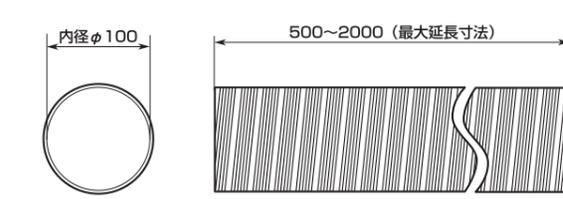
※取付板を介しての取付、H(L)形網への取付もアルミダクトの取付け方は同じです。

Fタイプ ※据置Fタイプは以下の内容が含まれます。

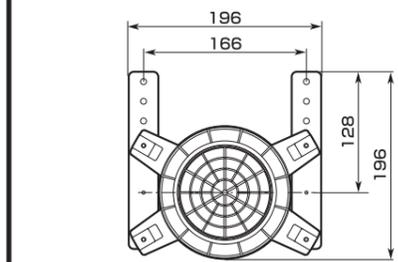
■吹出ノズル



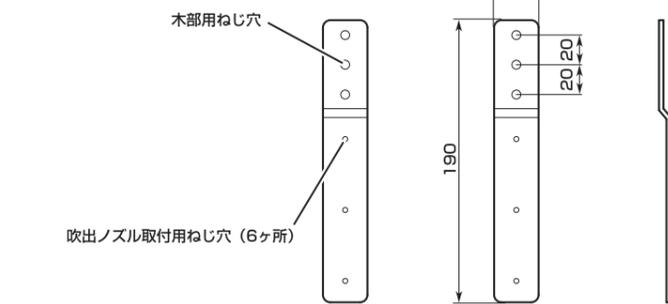
■アルミダクト



■吹出部完成



■ステー (2本1組)



●梱包内容 (本体1台)

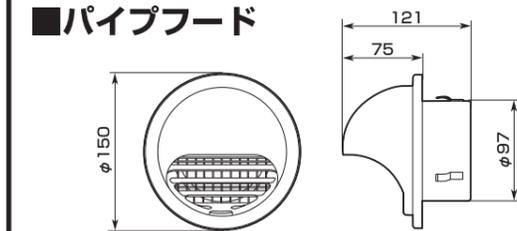
- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊(※1)
- 保証書×1冊(※1)
- タイマー一式×1ヶ(※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本

- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスターフット×4ヶ
- トラスタッピンねじ(φ4×12)×4本(固定足取付用)
- 吹出ノズル×1ヶ
- ステー×2本

- セルフタッピンねじ(M4×16)×4本(ステー取付用)
- トラスタッピンねじ(φ4×16)×4本(ステー木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ

Pタイプ ※据置Pタイプは以下の内容が含まれます。

■パイプフード



●梱包内容 (本体1台)

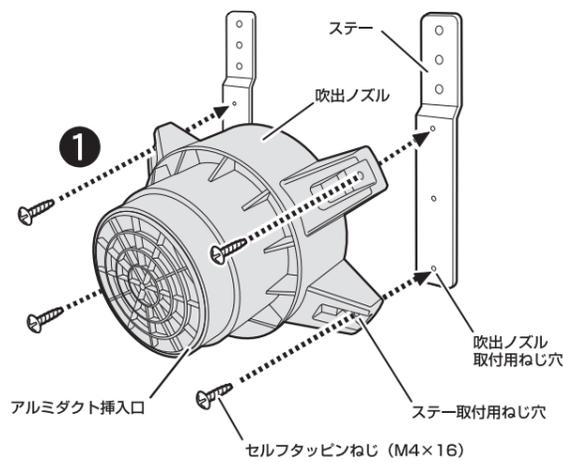
- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊(※1)
- 保証書×1冊(※1)
- タイマー一式×1ヶ(※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本

- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスターフット×4ヶ
- トラスタッピンねじ(φ4×12)×4本(固定足取付用)
- パイプフード×1ヶ
- コネクタキャップ×2ヶ

(※1) 1セット(本体2台)の場合1冊 (※2) タイマーの有無は梱包箱に記載

取付Pタイプ

## 据置Fタイプの施工方法



**注意**

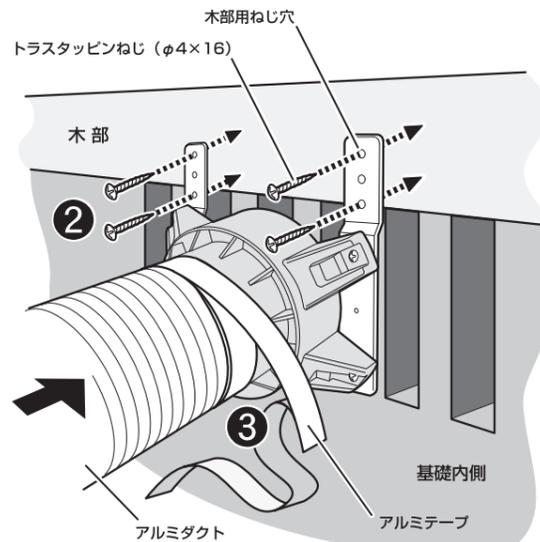
- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

**1** 吹出ノズル取付用ねじ穴にステータス取付用ねじ穴をあわせ、付属のセルフタッピンねじ (M4×16) で締付け、固定します。(吹出部完成)  
※床下に入る前に取付けておくと効率的です。

**注意**

- ステータスの方向に注意してください。
- ねじの締めはじめは、ねじ山が切れ込むように下向きに力をいれて回してください。
- ねじの締めすぎに注意してください。破損の恐れがあります。
- 締め付けの際、ねじの先端が約3mm出ますので注意してください。けがの恐れがあります。
- 電動ドライバーは使用しないでください。
- ステータスのバリに注意してください。けがの恐れがあります。

据置Fタイプ



**2** 吹出ノズルを取付けたステータスを基礎内側の換気口にあわせ、付属のトラストタッピンねじ (φ4×16) で基礎の木部などに締付け、固定します。  
※吹出ノズルの吹出口が換気口の中心にくるようにあわせてください。  
※木部にステータスが取付けられない場合は、付属のコンクリートプラグを使用してください。

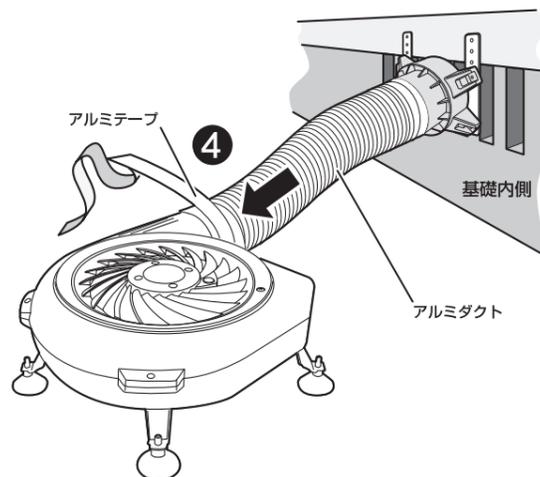
**注意**

- ねじの締めすぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

**3** 吹出ノズルのアルミダクト挿入口にアルミダクトを差込み、アルミテープで締付け、固定します。

**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。



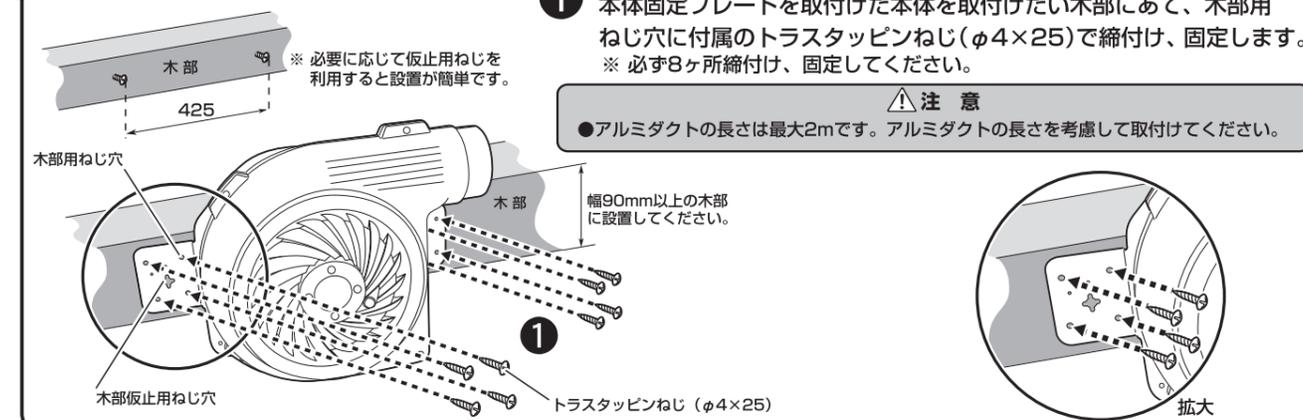
**4** 本体を据置き、吹出ノズルからアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。
- 本体に傾きがないよう、また、アジャスターフットは地面からの浮きがないよう設置してください。

## 本体の設置方法

### ■木部への取付

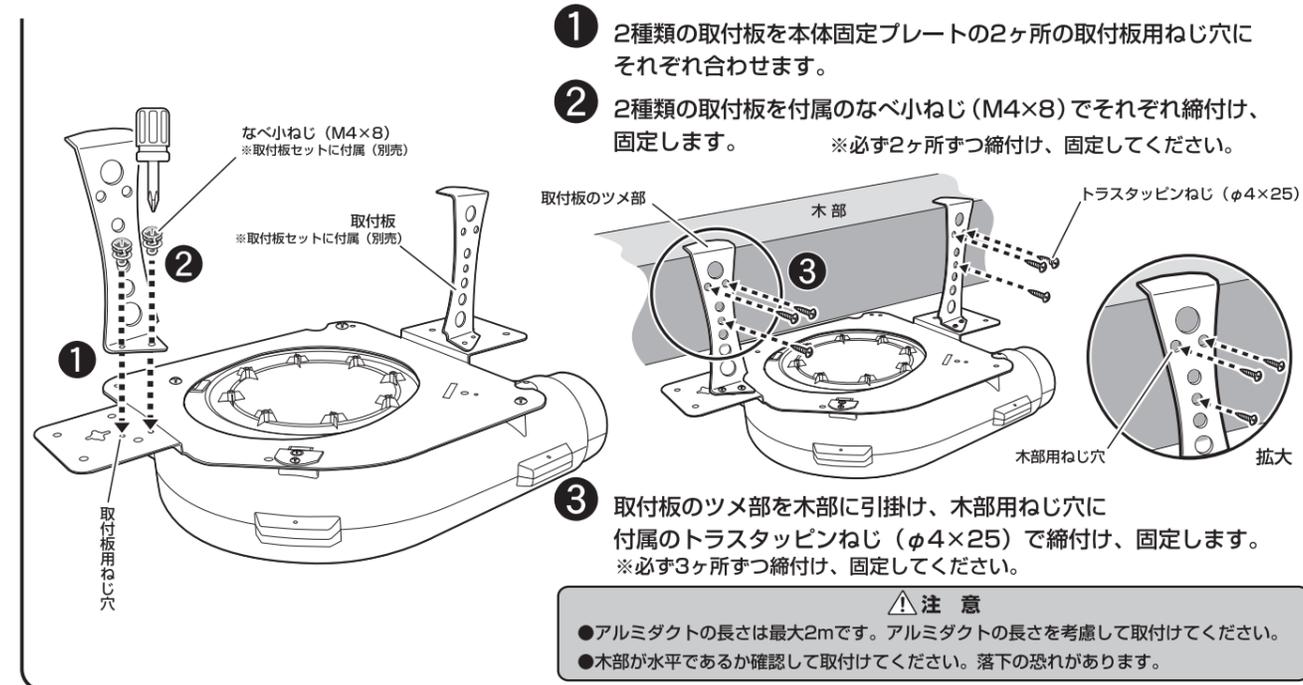


**1** 本体固定プレートを取付けた本体を取付けたい木部にあて、木部用ねじ穴に付属のトラストタッピンねじ (φ4×25) で締付け、固定します。  
※必ず8ヶ所締付け、固定してください。

**注意**

- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

### ■取付板を介しての取付 ※取付板セットは別売です。



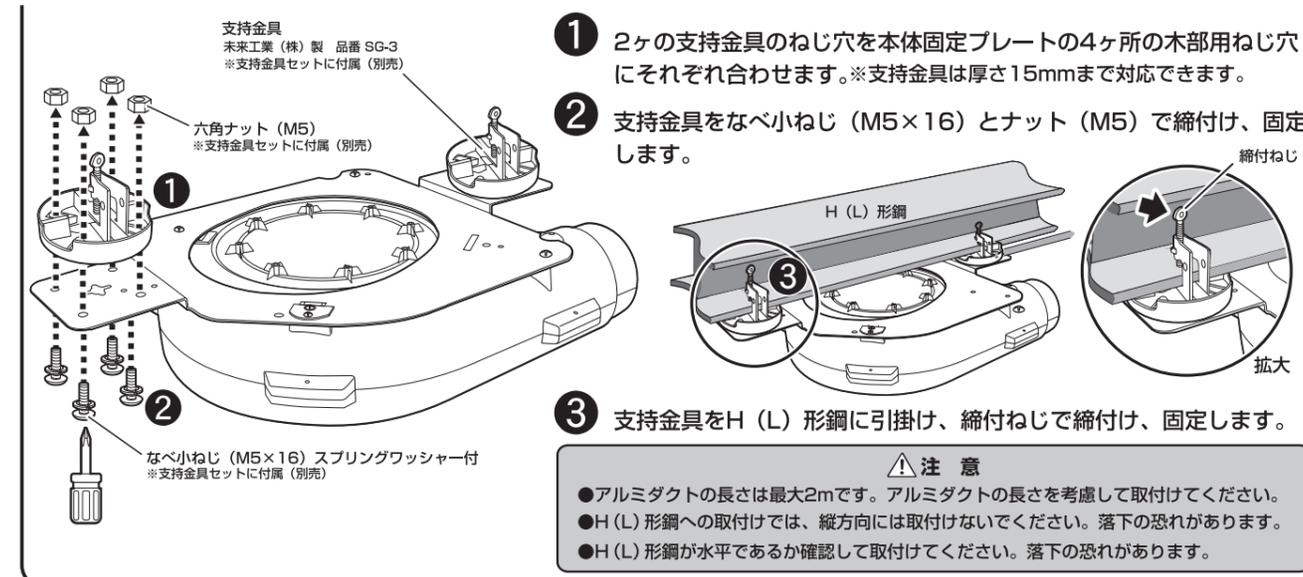
**1** 2種類の取付板を本体固定プレートの2ヶ所の取付板用ねじ穴にそれぞれ合わせます。  
**2** 2種類の取付板を付属のなべ小ねじ (M4×8) でそれぞれ締付け、固定します。  
※必ず2ヶ所ずつ締付け、固定してください。

**3** 取付板のツメ部を木部に引掛け、木部用ねじ穴に付属のトラストタッピンねじ (φ4×25) で締付け、固定します。  
※必ず3ヶ所ずつ締付け、固定してください。

**注意**

- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。
- 木部が水平であるか確認して取付けてください。落下の恐れがあります。

### ■H(L)形鋼への取付 ※支持金具セットは別売です。



**1** 2ヶの支持金具のねじ穴を本体固定プレートの4ヶ所の木部用ねじ穴にそれぞれ合わせます。※支持金具は厚さ15mmまで対応できます。  
**2** 支持金具をなべ小ねじ (M5×16) とナット (M5) で締付け、固定します。

**3** 支持金具をH(L)形鋼に引掛け、締付ねじで締付け、固定します。

**注意**

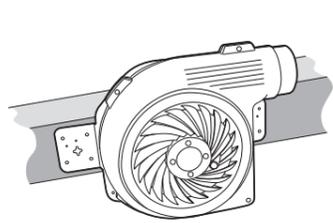
- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。
- H(L)形鋼への取付けでは、縦方向には取付けられないでください。落下の恐れがあります。
- H(L)形鋼が水平であるか確認して取付けてください。落下の恐れがあります。

共通項  
取付型

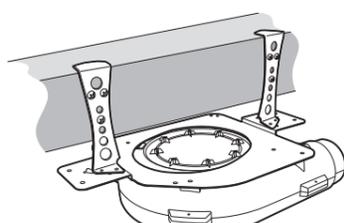
# ◎取付型（取付Fタイプ・取付Pタイプ）共通項

## 本体固定プレートを使った様々な取付例

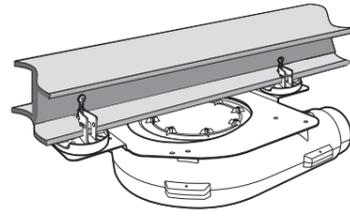
本体固定プレートは本体を様々な方法で取付けることができます。



木部への取付

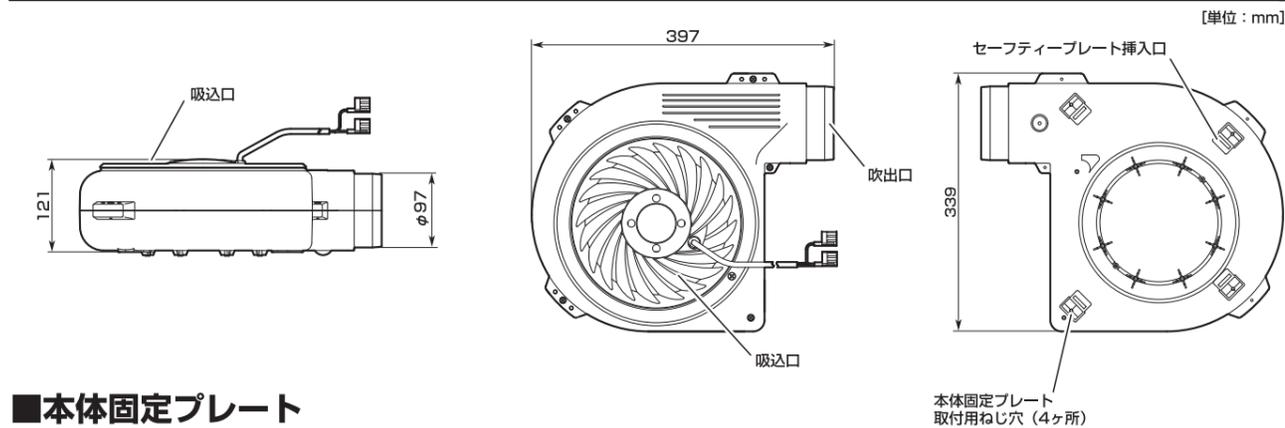


取付板を介しての取付

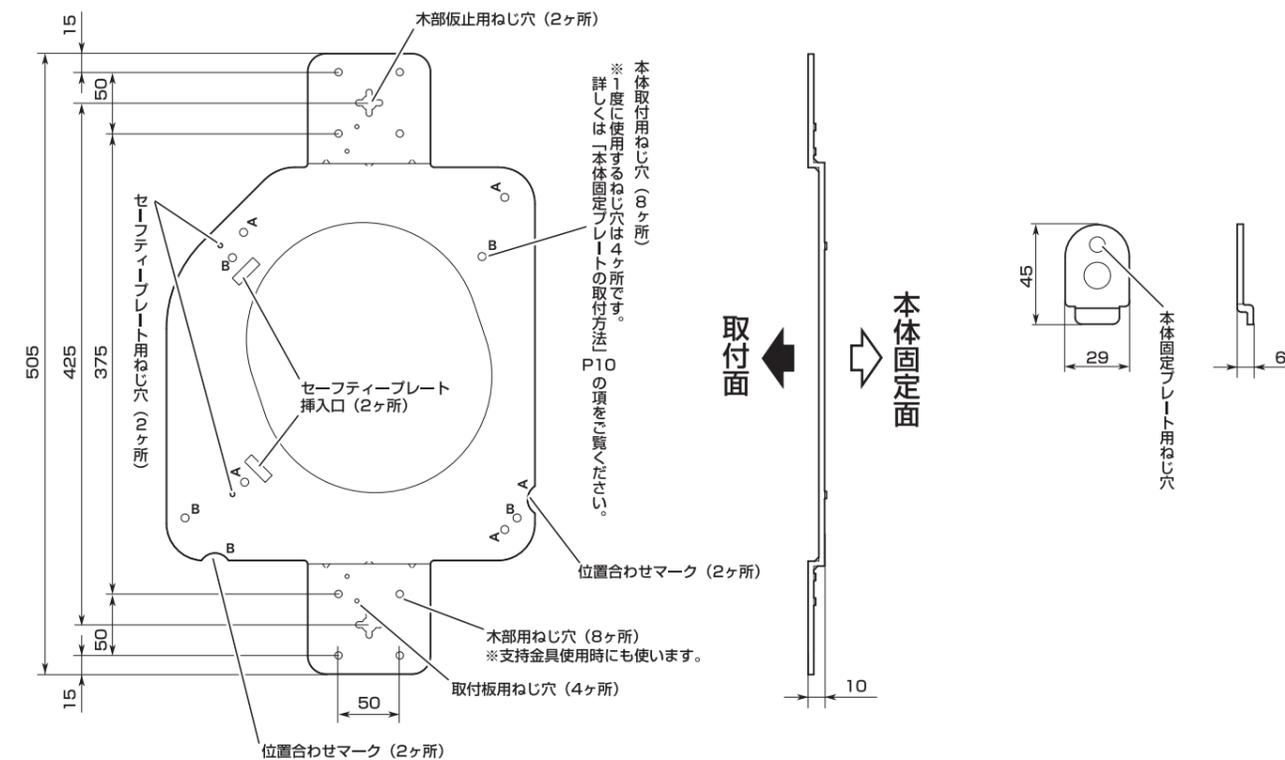


H(L)形鋼への取付

## 各部の名称と外形寸法図



### ■本体固定プレート



※取付板を介しての取付、H(L)形鋼への取付に使用する次の部品は別売となります。

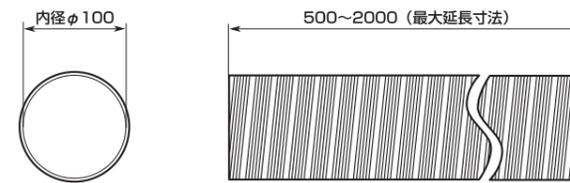
### 取付板セット〈取付板を介しての取付〉

- 取付板×2種類
- なべ小ねじ (M4×8) ×4本

### 支持金具セット〈H(L)形鋼への取付〉

- 支持金具×2ヶ 未来工業 (株) 製 品番: SG-3
- なべ小ねじ (M5×16) スプリングワッシャー付×8本
- 六角ナット (M5) ×8本

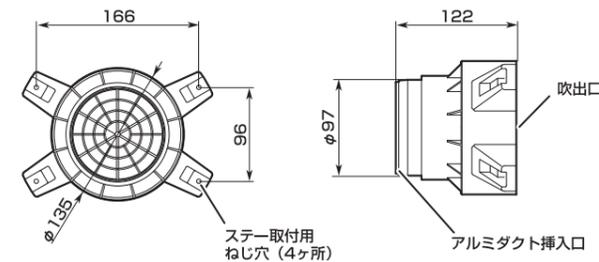
## ■アルミダクト



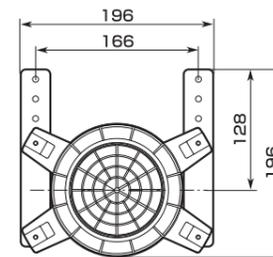
## Fタイプ

※取付Fタイプは以下の内容が含まれます。

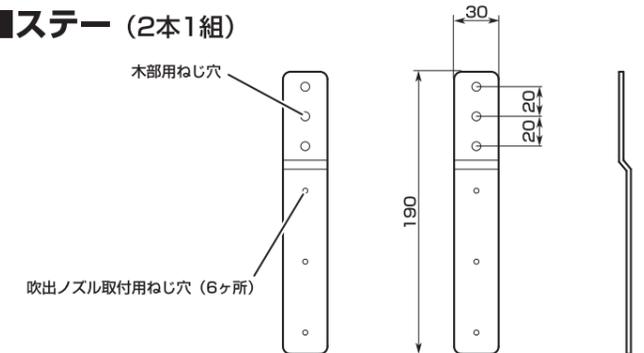
### ■吹出ノズル



### ■吹出部完成



### ■ステー (2本1組)



### ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- タイマー一式×1ヶ (※2)

### ●アルミダクト(最大2m)×1本

- アルミテープ×2本
- 本体固定プレート×1枚
- トラスタッピンねじ (φ4×10) ×4本 (本体固定プレート取付用)
- セーフティープレート×1枚
- なべ小ねじ (M4×8) ×1本 (セーフティープレート取付用)

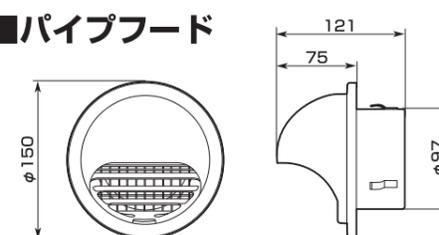
### ●吹出ノズル×1ヶ

- ステー×2本
- セルフタッピンねじ (M4×16) ×4本 (ステー取付用)
- トラスタッピンねじ (φ4×16) ×4本 (ステー木部取付用)
- トラスタッピンねじ (φ4×25) ×8本 (本体固定プレート木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ

## Pタイプ

※取付Pタイプは以下の内容が含まれます。

### ■パイプフード



### ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- タイマー一式×1ヶ (※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本
- アルミテープ×2本
- 本体固定プレート×1枚

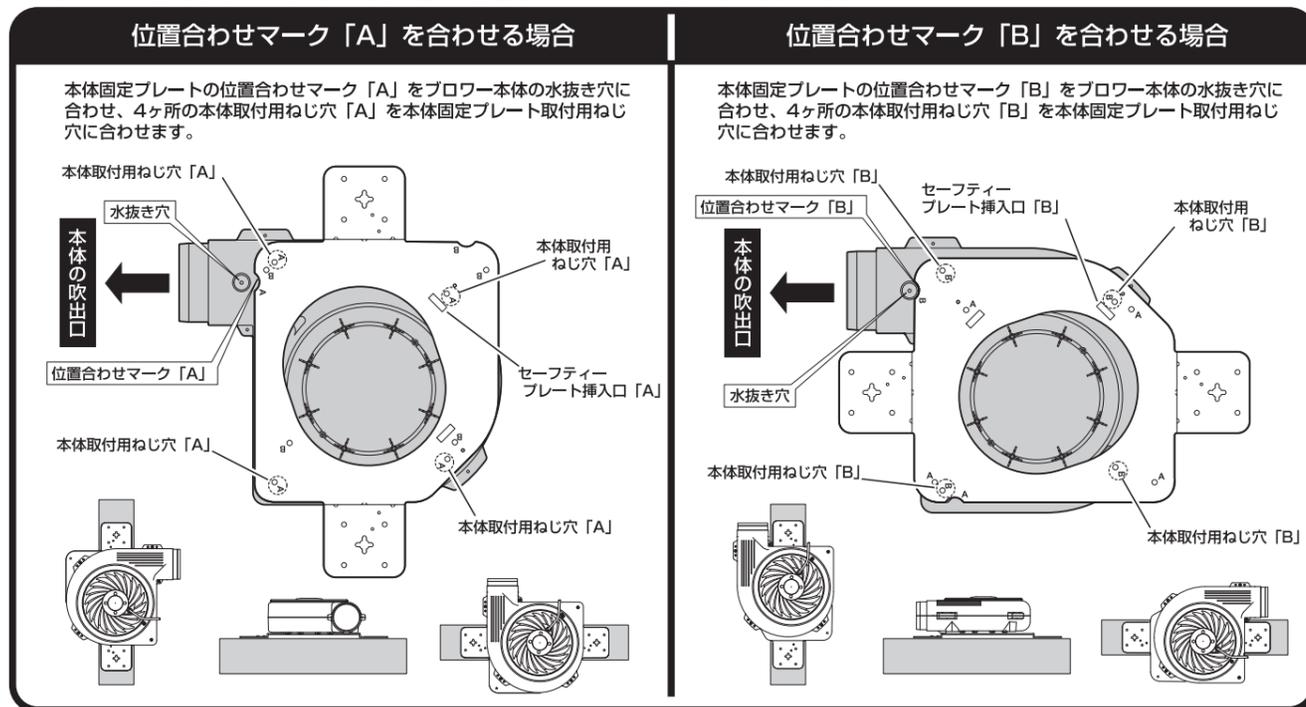
- トラスタッピンねじ (φ4×10) ×4本 (本体固定プレート取付用)
- セーフティープレート×1枚
- なべ小ねじ (M4×8) ×1本 (セーフティープレート取付用)
- パイプフード×1ヶ
- トラスタッピンねじ (φ4×25) ×8本 (本体固定プレート木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ

(※1) 1セット (本体2台) の場合1冊 (※2) タイマーの有無は梱包箱に記載

## 本体固定プレートの取付方法

本体に本体固定プレートを取付ける角度は以下の2通りあります。

※あらかじめ本体を取付ける場所をご確認の上、本体固定プレートの取付角度をお選びください。

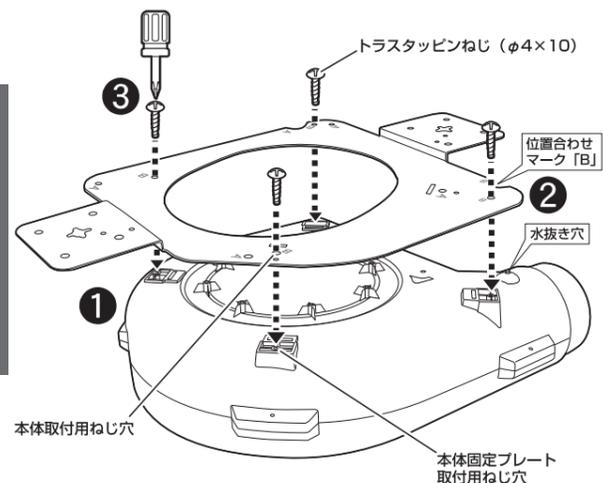


### 位置合わせマーク「B」を合わせる場合

※位置合わせマーク「A」を合わせる場合は上図を参照してください。

#### 注意

●本体固定プレートのバリに注意してください。けがの恐れがあります。



1 本体を逆さまにし、底面を上に戻します。

#### 注意

●本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

2 上図を参照し、取付けたい角度に本体固定プレートを合わせます。  
※本体固定プレートの位置合わせマーク「B」をブロー本体の水抜き穴に合わせ、4ヶ所の本体取付用ねじ穴「B」を本体固定プレート取付用ねじ穴に合わせます。  
※位置合わせマーク「A」を合わせる場合は本体取付用ねじ穴「A」を合わせてください。

3 本体固定プレートを付属のトラスタッピンねじ(φ4×10)で締付け、固定します。  
※必ず4ヶ所締付け、固定してください。

#### 注意

●ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

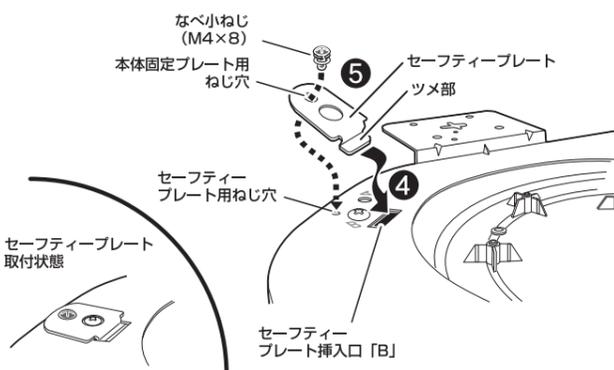
4 セーフティプレート挿入口にセーフティプレートのツメ部を差し込み、本体と一緒に固定します。

※本体固定プレートからの本体落下防止のため、セーフティプレートは必ず本体のセーフティプレート挿入口まで差し込み、固定してください。  
※セーフティプレートの固定は1ヶ所です。  
※位置合わせマーク「A」を合わせる場合は上図を参照してください。

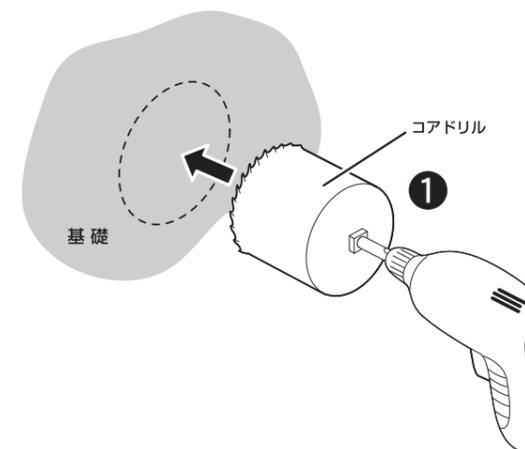
5 セーフティプレート用ねじ穴に本体固定プレート用ねじ穴を合わせ、付属のなべ小ねじ(M4×8)で締付け、固定します。

#### 注意

●ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。



## 据置Pタイプの施工方法



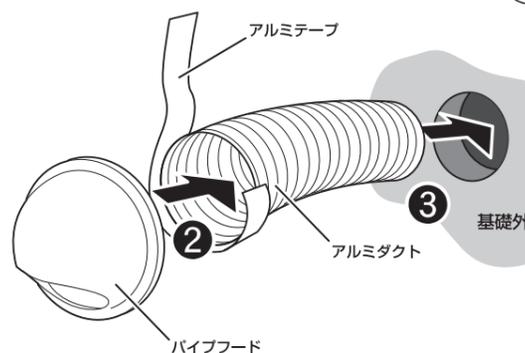
#### 注意

●アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。  
●アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

1 基礎にコアドリルでφ110の穴を開け、ダクトが通るようにします。  
※状況に応じて外側・内側から開けてください

#### 注意

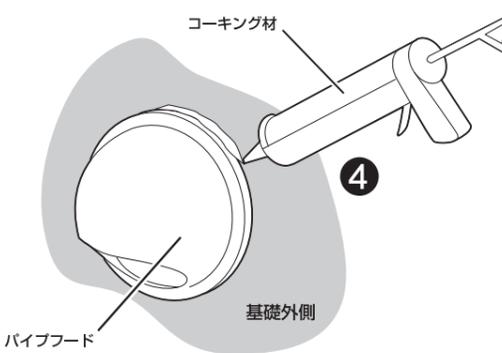
●電動ドリルを使用する際は、十分注意してください。けがの恐れがあります。



2 パイプフードをアルミダクトに差し込み、アルミテープで締付け、固定します。

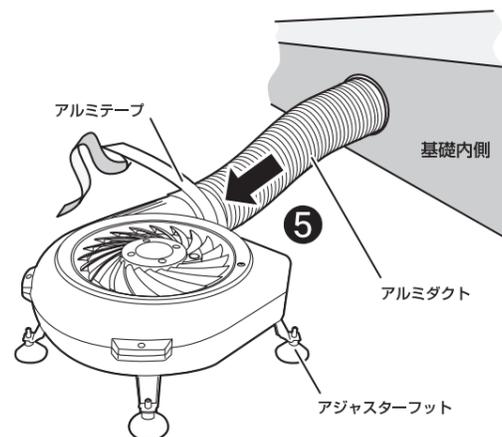
#### 注意

●アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。



3 アルミダクトを①で開けた穴に屋外から差し込みます。

4 パイプフードと基礎のすき間を市販のコーキング材でコーキングします。  
※変成シリコンをコーキング材として使用すると後に塗装ができます。



5 床下に本体を設置し、③で差込んだアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差し込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

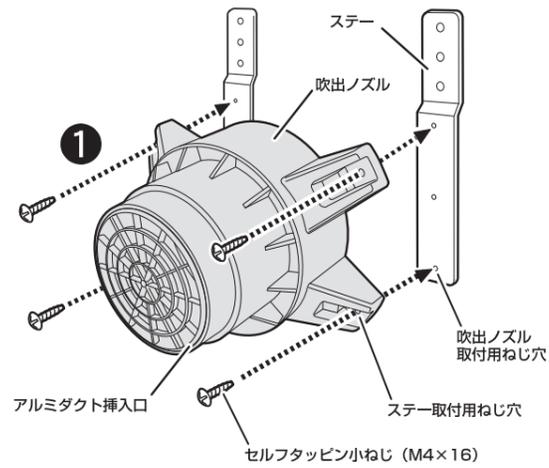
#### 注意

●アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。  
●アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。  
●本体に傾きがないよう、また、アジャスターフットは地面からの浮きがないよう設置してください。

据置Pタイプ

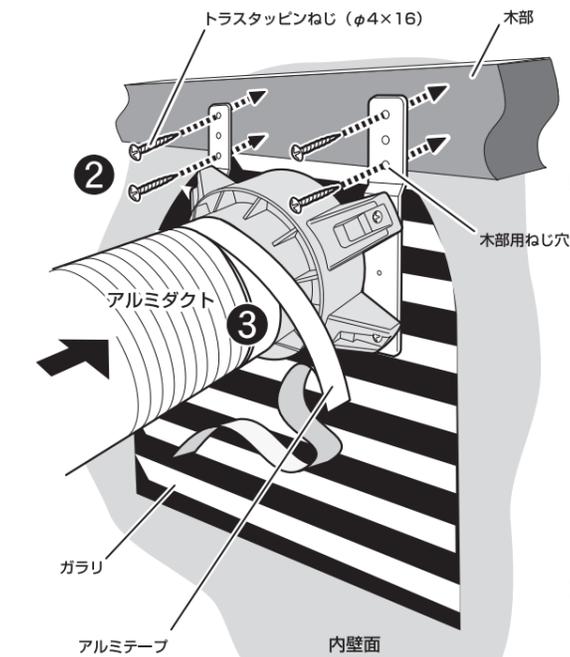
共通項  
取付型

## 取付Fタイプの施工方法



- 注意**
- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
  - アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

- 1** 吹出ノズル取付用ねじ穴にステア取付用ねじ穴をあわせ、付属のセルフタッピンねじ (M4×16) で締付け、固定します。(吹出部完成)  
※施工前に取付けておくと効率的です。



- 注意**
- ステアの方向に注意してください。
  - ねじの締めはじめは、ねじ山が切れ込むように下向きに力をいれて回してください。
  - ねじの締めすぎに注意してください。破損の恐れがあります。
  - 締め付けの際、ねじの先端が約3mm出ますので注意してください。けがの恐れがあります。
  - 電動ドライバーは使用しないでください。
  - ステアのバリに注意してください。けがの恐れがあります。

- 2** 吹出ノズルを取付けたステアを壁面の換気口にあわせ、付属のトラストタッピンねじ (φ4×16) で木部などに締付け、固定します。  
※吹出ノズルの吹出口が換気口の中心にくるようにあわせてください。  
※木部がなくステアが取付けられない場合は、あて木をして取付けてください。あて木をしないとねじが壁面を突き抜ける恐れがあります。

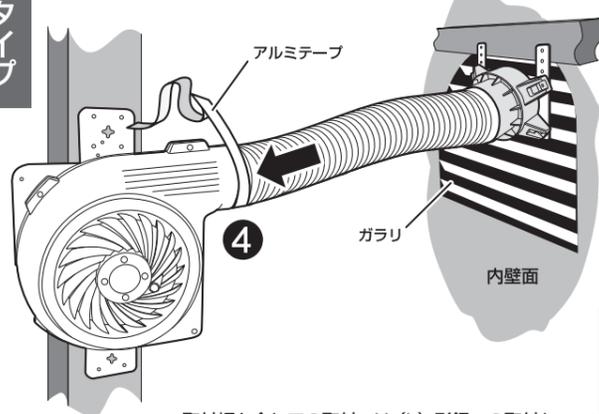
- 注意**
- ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

- 3** 吹出ノズルのアルミダクト挿入口にアルミダクトを差込み、アルミテープで締付け、固定します。

- 注意**
- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
  - アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。

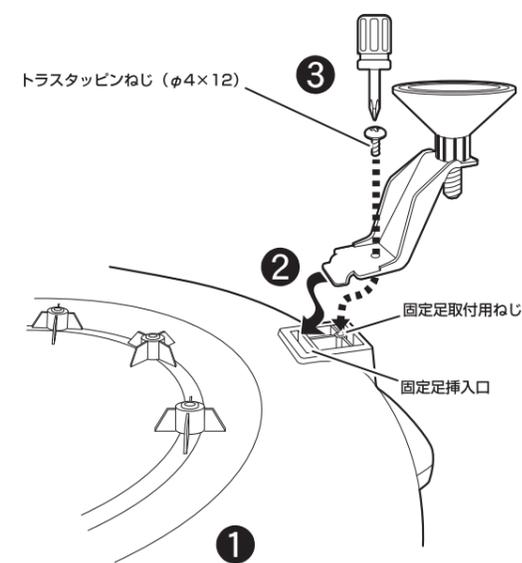
- 4** 吹出ノズルからアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

- 注意**
- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
  - アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。



※取付板を介しての取付、H (L) 形鋼への取付もアルミダクトの取付け方は同じです。

## 固定足の取付方法



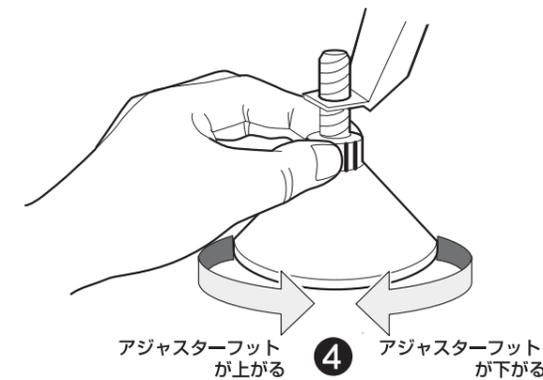
- 1** 本体を逆さまにし、底面を上にします。

- 注意**
- 本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

- 2** 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差込みます。

- 3** 底面の固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属のトラストタッピンねじ (φ4×12) で締付け、固定します。  
※②～③をくりかえして固定足を4ヶ所取付けます。

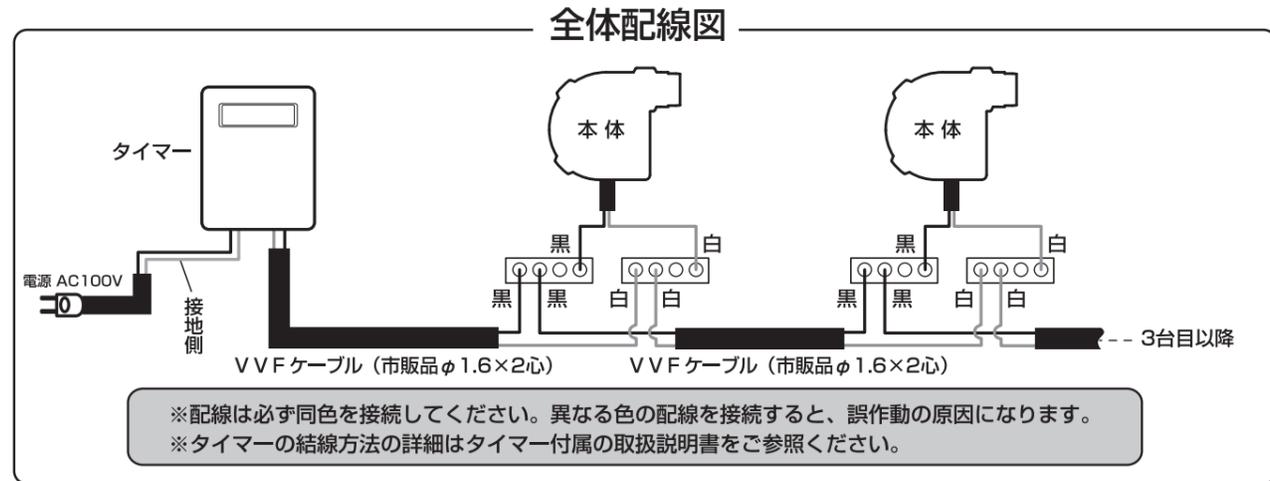
- 注意**
- ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。



- 4** 本体をもとにもどし、本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスターフットの高さを調整します。  
※時計方向にまわすとアジャスターフットが下がります。反時計方向にまわすとアジャスターフットが上がります。

- 注意**
- 据置面が水平であるか確認して据置いてください。
  - 据置く時はアジャスターフットの下に小石などがないことをご確認ください。
  - 固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。

## 配線および結線方法



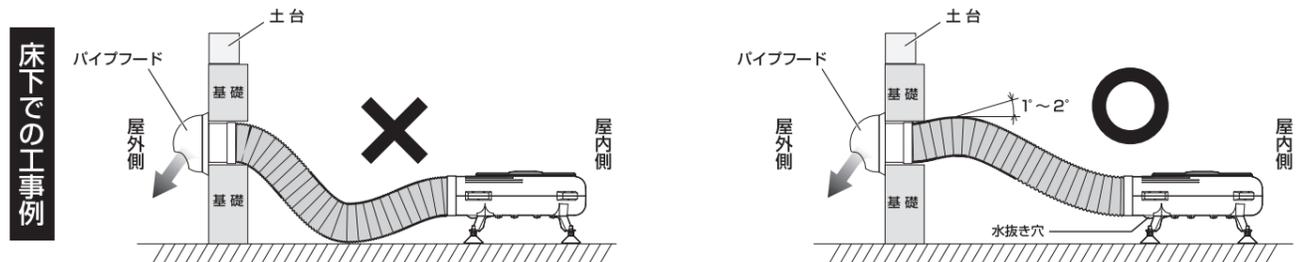
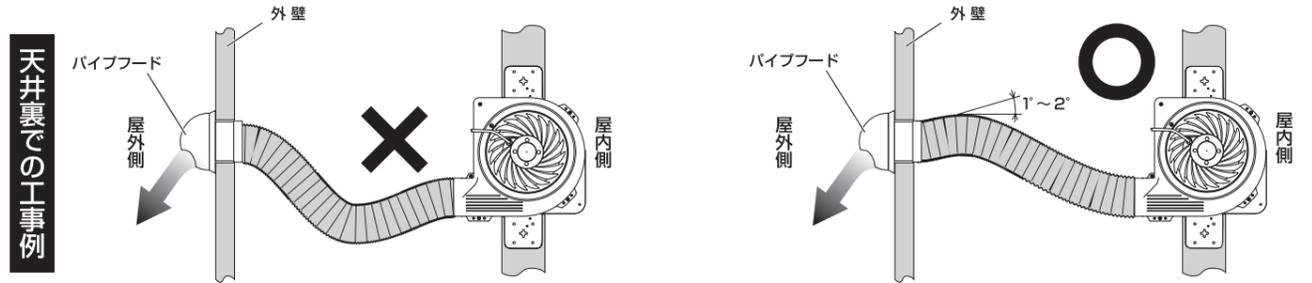
## ダクト工事に関する注意事項

次のようなダクト工事はしないでください。(性能低下や騒音の原因になります)



アルミダクトは屋外側に1°~2°下りこう配にし、本体までたるませずに接続してください。  
※吹出ノズル(取付Fタイプ)の場合も同様です。

- 注意**
- 屋外からの雨水等がアルミダクトにたまらないようにしてください。
  - 吊りバンドはダクトが垂れないように場所を選んで取付けてください。



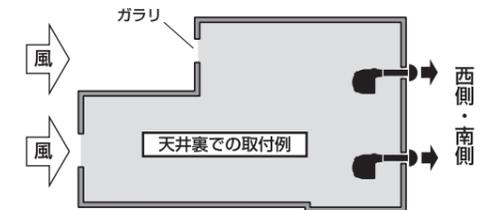
**結露対策について** ●冬期など天井裏とダクトの温度差のため、ダクトが結露する際は(特に寒冷地)、ダクトに断熱材を巻くか、断熱対策がなされているダクト(市販品)の使用をおすすめします。

## 取付場所

**本体** 本来の効果を損なうことのないよう設置位置選定と使用方法に配慮してください。

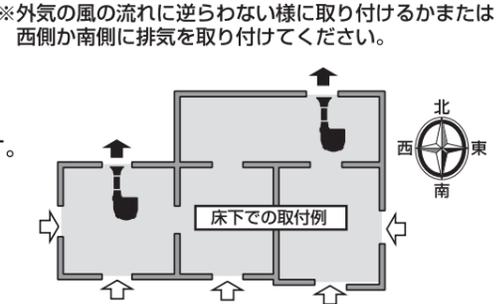
### 天井裏での取付例

- 天井裏の風が、よく流れる位置に換気扇と換気口を設けてください。
- 吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所に取付けてください。
- 風雨や風雪の吹込みがない場所を選んでください。
- 一般住宅の天井裏(使用可能温度条件-5℃~60℃)換気専用です。
- ※常時周囲温度が40℃を超える場所には取り付けしないでください。



### 床下での取付例

- 床下の風が、よく流れる位置に換気扇と換気口を設けてください。
- 吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所に取付けてください。
- 風雨や風雪の吹込みがない場所を選んでください。
- 積雪により、換気口がふさがれてしまうような所は防雪の処置が必要です。
- 換気口の近くに物を置かないでください。換気性能の低下や騒音の原因になります。
- 使用可能温度条件(-5℃~40℃)以外のところに取付けしないでください。
- 換気格子の空気抵抗が大きい場合、換気口の格子を取除いて防虫ネット(オプション)を取付けてください。



### タイマー

- コンセント付近の都合の良い柱、又は壁に取付けてください。
- 換気扇を取付けた近くの室内に取付けてください。

※換気有効面積 8~10坪/台(目安)

## 仕様

定格電圧	AC100 [V]
定格周波数	50/60 [Hz]
定格消費電力	26/30 [W]
換気能力	248/231 [m <sup>3</sup> /h]
騒音	50/48 [dB] (吹出口から45°、1m地点で測定)
質量	約 2.6 [kg] (付属部品を除く)